

普及啓発

相模原 発達障害 セミナー 🔍

当センターでは、発達障害のある人や家族、支援者または市民の方を対象に発達障害の理解促進などを目的に、様々なセミナーを企画・開催しています。詳しくは相模原市ホームページをご覧ください。



World Autism Awareness Day

毎年4月2日から8日は『発達障害啓発週間』
広がる理解、つながる支援

コンサルテーション

〈支援者の方へ〉

施設や機関に対して、技術的助言などを行っています。

① センターにお電話をください。センター職員が所属機関からの依頼内容等をお聞きします。

② センター内で検討し、依頼者へご連絡します。



利用のご案内

- 対象** 市内在住で発達障害があるかその心配がある人、その家族、および関係機関
- 日時** 月曜日から金曜日(年末年始及び土日・祝日を除く) 8:30 ~ 17:00まで
- 費用** 無料
- 住所** 〒252-0226相模原市中央区陽光台3-19-2 (陽光園療育相談棟内) TEL.042-756-8411 FAX.042-756-3360



JR横浜線相模原駅または淵野辺駅、小田急線相模大野駅各駅から路線バスあり 「光が丘小学校前」下車 徒歩5分



相模原市 発達障害支援センター



TEL.042-756-8411

発達障害の支援とは

発達障害支援センターでは、日常生活や学習、社会生活、仕事等における困難さがあつた場合、その背景にある発達障害の特性を「わかる・知る」ことが、その後の適切な支援を考えるために重要と考えています。困難さへの「気づき」のあと、その困難さを改善するために、すぐにどのように「とりくむ」のかを考えるのではなく、発達障害の特性を「わかる・知る」ことで初めて、ご本人に合った生活の仕方や働き方が見えてきます。

一緒に考えます！

「本人は何に困っているのだろう？」

「対人関係がうまくいかない」

「障害の特性を知り、自分に合った生活を考えたい」など



相談支援

～相談の流れ～

- ＜ご本人・ご家族の方へ＞
- ①お電話にてご相談ください
☎042-756-8411
 - ②ご相談内容に合わせて助言や情報提供を致します。

※継続した支援が必要な場合は、支援方法等を検討します
(対応方法の助言・機関紹介・来所相談など)



乳幼児～中学生の相談はこちらにお電話ください

気づく → わかる・知る → とりくむ

こんなことに気づいたら
ご相談ください



知的な遅れは無いのに読めない

授業中なのに席に座ってられない

コミュニケーションが
かみ合わない

視線が
合いにくい

乳幼児期

学齢期

成人期

ライフステージや個人によって特性の現われ方が異なります

発達障害を「わかる・知る」



それぞれの障害の特性

- 言葉の発達の遅れ
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、こだわり

自閉症

広汎性発達障害

アスペルガー症候群

- 基本的に、言葉の発達の遅れはない
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、興味・関心のかたよりの
- 不器用（言語発達に比べて）

※このほか、トゥレット症候群や吃音（症）なども発達障害に含まれます。

注意欠陥多動性障害 ADHD

- 不注意（集中できない）
- 多動・多弁（じっとしてられない）
- 衝動的に行動する（考えるよりも先に動く）

学習障害 LD

- 「読む」、「書く」、「計算する」等の能力が、全体的な知的発達に比べて極端に苦手

厚生労働省「発達障害の理解のために」より

気になる行動の理由を「わかる・知る」(冰山モデル)

- 行動を理解するために、氷山に例える「冰山モデル」という考え方があります。
- 気になる行動を水面上に見えるものとして考えた場合、水面下には行動に影響を与えている様々な要因があります。
- 水面下から考えることで、対応や支援の方法が見つかりやすくなります。
- 例えば、パニックになるという行動の背景には、感覚の偏りや見通しがもてず不安になるなどの発達障害特性がある場合もあります。

参考：佐々木正美編「自閉症のTEACCH実践」

気になる行動

考えてみよう

どんな気持ち？

何があつたかな？

他の人はどんな反応？

対応は？

きっかけは？

この行動にどんなメリットがある？

